

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院



vol. 241 通信
 R2年9月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
9	8	7	8	8	8

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 14名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 14名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

《9月行事予定》

15日 運営推進会議
 (ナイス・ホーム)

※参加人数を制限し、3密を避けての開催予定

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、上記以外の行事は自粛しています。今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業に関するお知らせ》

- ・打太鼓 → 休止中
 - ・コーラス → 休止中
 - ・ナイス・キッズ (学童保育・託児)
→今年度は休止
 - ・鍼灸てのひら
→対象者を利用者さん・職員に限定し営業中
 - ・喫茶てのひら
→9月末まで営業自粛
- 詳細はお問い合わせ下さい。



記憶と辿る／愛宕の家

8月の終戦記念日が近くなると、テレビ等で戦争関連の番組が放映されます。それをじっと見ていたAさん。「私も空襲には何度もあった。疎開した先々まで空襲にあった。」と戦争の話をしていただきます。内容はいつも同じで「私の母親はお嬢様育ちでいざとなると動転してしまい泣いて動けなかった。その母親の手を引いて一生懸命逃げた。途中大きな公園で人が何人も倒れていた。」と生々しく記憶を語ってくれます。そんな経験をしてきたAさんはコロナ禍の今の状況を「戦争に比べたらマシ。」と言います。

愛宕の家には70歳代の方も数名おられ、その方たちは戦争の記憶はほとんどないか、まだ生まれていない方もみえます。戦争の記憶を語ってくださる方もだんだんと減ってきました。平和な時代に生きていることを感謝しつつ、戦争もコロナもない穏やかな世の中を願ってやみません。(K・T)



8月15日(土) 盂蘭盆経
 今年は感染予防対策、3密を避けての開催となりました。



「大分、塩ふいてきたねえ～」と丁寧に梅干しを裏返しているBさん。手間暇かけたおいしい梅干しが食卓に並ぶ日が待ち遠しい限りです。



命について／ナイス・デイ

誰もが想像していなかった特別な夏が終わろうとしています。日本人にとって夏という季節は『命』と向き合う季節なのかもしれません。

昭和20年8月6日。14万人が一瞬にして『命』をなくしてしまった広島原爆投下。そして、同じ年の8月9日、長崎でも原爆投下で8万人が亡くなっています。同年、8月15日終戦。何百万人という方が戦争で『命』を亡くしました。新しくは35年前の8月、日航ジャンボ機墜落事故。世界最大にして最悪の航空機事故で520名の方の『命』が奪われました。

“夏”はお盆時期という事もあり、『命』と向き合う大切な時期だと私は思っています。そして、今は新型コロナウイルス感染症のパンデミック中。多くの人の命を奪い、今なお、研究が進められている段階です。

ナイス・デイでは、先日、フロアのテーブルに登場した、飛沫防止のパーテーションにも、みなさん慣れてみえました。手指消毒も今は日常になっています。そうやって、いろいろな事に慣れていながら、毎日が過ぎていきます。先が見えない今の状況ですが、息が詰まる日常ではなく、みなさんと前向きに『命』を守る工夫を凝らしていきます。(M・O)

有精卵をふ卵器で管理し、ちょうど28日目に卵の殻が割れました。卵がかえるか心配していたみなさんも一安心。早く大きくなって、残飯処理と堆肥づくりを担ってね♪



たまご12個中6羽のひよこが生まれました

〇〇したいを実現！／ナイス・ホーム



今年の2月までは、毎月、誕生日会にはボランティアの方々に慰問していただき、盛大に誕生日会を開催。誕生日の方はもちろんですが、それ以外の利用者さんも、毎月毎月楽しみにしてみえました。しかし、このご時世、自粛せざるをえません。反対にこの状況を違う角度から考えると、『個々の要望をそのまま実現する事で利用者さん同士でのプレゼントになるのではないかと』思い、8月の誕生者の方に何がしたい？と尋ねてみました。すると、「私はお好み焼きが食べたい！！」と。すぐ

さま返答を頂きました。早速、スタッフが準備に取り掛かり、もちろん他利用者さんも協力体制。大好きなお好み焼きを顔なじみの利用者さんと一緒に作り、一緒に食べ、誕生日カードのプレゼント。帰り際、「今日は楽しかったよ。ありがとう」とみなさんに、声をかけてみえました。誰にでも、『〇〇したい』という意欲があります。それを実現するために、必要な小さな目標があり、そのお手伝いをするのが私たちの役目でもあります。これを機に『〇〇したい』を実現するきっかけになる誕生日会を企画していくことも、良いかもしれないですね。(Y・O)



《編集後記》ナイス・デイでも、愛宕の家でも、終戦や新型コロナをきっかけに『命』について考える機会が増えていたようです。情勢は様々厳しいですが、今こうして“笑顔”で皆さんと関われ、“元気”に過ごさせている事に“感謝”します。(Y・O)



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

9月の発送部数 95部